

ウィズユース(地区委員会)の活動

富士見丘小学校地区「昔あそび」



市内には現在小学校が13校あり、各小学校区単位に「青少年とともにあゆむ小学校地区委員会(愛称:ウィズユース)」があります。ウィズユースは、未来を担う青少年の健全な育成を目指す地域の団体で、青少年の健全育成に関心のある方や、地域で青少年に関する団体が集まり活動する自主組織です。地区委員会に集まる方々の多様な知識、技能を活かして、地域の大人と子どもがふれあうことができ、様々な活動が行われています。

昔からやっていた日本の伝統的な遊びの、竹馬、こま、羽根つき、お手玉、坊主めくり、けん玉、縄跳びなどをやります。竹馬は距離と高さへ、こま回しは時間へ、縄跳びとけん玉はより上級の技に挑戦、羽根つきは相手と楽しく、お手玉は民生児童委員の方の指導をいただきます。



三間の創出と体力の向上



成隣小学校 加賀田 校長先生

二極化していること、多様な運動経験が少ないことの二点が挙げられます。このため、現代の子供たちが失ってしまったと言われる「三間(さんま)、すなわち「時間」「空間」「仲間」を意図的に設定し、「いつ、どこに行く」と、みんなと一緒に運動することができるといいう時間・空間・一緒に活動する仲間の環境を保障し、友達と一緒に楽しく汗を流す経験をさせることで生涯にわたって運動に親しむ態度を育成することに取り組んでいます。

具体的には、「元氣アップタイム」という時間を休み時間や放課後に設け、教員やプレイリーダー(職員)が誘ったり、教えたりしながら、運動遊びに親しませるといいう取り組みです。今年度からは、体育委員会の児童が様々な場を工夫して作り、児童同士

成隣小学校は、今年度創立百四十四年を迎えた、市内で最も歴史の古い学校です。本校の学区域では多摩川の河川敷でアキシマクジラの化石が発見され、用水路周辺では野生のホタルが観察されるなど、歴史や自然に親しむ環境に恵まれています。

本校は平成二十八年度から三年間、東京都アクティブライフ実践学校の指定を受け、児童の体力向上について研究を行っています。

指導をいただき、三つ玉に挑戦しました。坊主めくりは低学年から高学年が一緒に楽しみました。今年も縄跳びとけん玉の検定を行い、参加をした子ども達全員が挑戦し、全員が合格した認定証をもらう事ができました。そして、閉会式で縄跳びとけん玉の上級認定者が表彰され、けん玉の上級認定者が参加者の前で技を披露し、参加者からは拍手喝采でした。

今年度は保護者の方が中心になって初めて綿菓子とポップコーンの手作り体験をやり、休憩時間に子ども達が綿菓子の試食を楽しみ、行事が終わった後に参加賞としてポップコーンが配られました。

活動で運動遊びに親しむという取り組みも始めています。このほか、本校独自の成隣エクスサイズなどを通して、運動が苦手な児童でも楽しく運動に親しめる時間を設けています。

また、今年度より市内全小・中学生に配布された、新体力テストの種目や体育の授業と関連のある運動や遊びが紹介されている「元氣アップカード」(平成三十年年度から「元氣アップガイドブック」を活用することで運動の幅を広げ、日常的に運動に親しむ態度の定着を図るにも取り組んでいます。

運動に親しみ、楽しく汗を流す習慣を心身の健康・体力の向上につなげ、苦しい時にも最後まで頑張ることや、だれかを助けることのできる心と体の強さを育てていきたいと願っています。

成隣小学校地区「成隣フェスティバル」



成隣フェスティバルは、子どもたちと地域の人々との交流とふれあいの場を持つことを目的に18年前から毎年開催され、今年度も2月18日に児童・保護者・先生・地域の協力者等、総勢約700名の方が参加して行われました。

子どもたちは、お手玉、けん玉、おはじき等の日本伝統の遊びで地域のひととふれあひ、学校の先生、子供会やスポーツ団体などをはじめとする各種団体が催す模擬店の出し物を楽しみながら、スタンプレリー形式で回りました。

そして、お昼には、焼きそばやカレーライスを食べ、その後の閉会では清泉中コーラス部の歌声に聞き入った後、児童がヨサコイソランを元気に踊り、最後にピング大会に全員が参加してフェスティバルが締めくくられました。



中神小学校地区「ふれあいとちの木まつり」



2018年2月17日、天気良好の土曜日に「第11回ふれあいとちの木まつり」が開催されました。午前中は学校行事、午後の部にPTAのゲームコーナーや模擬店。各教室体育館は子どもたちであふれ、そして模擬店には子どもたちや地域の方々がたくさん来てくださり大変盛り上がりしました。ウィズユースとしては模擬店の「やきそば」「とん汁」に協力して、「やきそば」70食、「とん汁」200食を完売することが出来ました。「やきそば」は大きな鉄板でウィズユースの運営委員さんそしてPTAのお父さんが担当しました。

最後に、大人も子どもたちも笑顔がとて印象に残る1日でした。

光華小学校地区「日本の遊びを楽しむ会」



「大人も子どもも真剣勝負!」「やった!今度は僕の勝ちだよ!」子ども達の声や笑いが教室いっぱいに響きわたる。光華小学校地区委員会恒例の行事「日本の遊びを楽しむ会」である。この行事のきっかけは平成七年度に地区委員会、PTAが、一緒に何か取り組みができないかという提案が発端であった。それに子ども会連協(当時)が加わって三団体共催事業として翌八年度からスタートした。

遊びの種目は、竹とんぼ、竹馬、わりばし鉄砲、和紙人形、豆はさみ、けん玉、投扇興、かるた、百人一首さらに光華小学校出身の落語家桂竹わさんの落語会と多彩である。遊びの指導者は、地域のなかで遊びの経験、知識のある方をお願いしている。子ども達をお願している。子ども達のかかわりを深めていく。この事業は、学校や保護者、地域の方の協力を得て校内で子ども達が安全に過ごせるよう「見守り」をするもので、児童クラブのように「保育」をする事業ではありません。

「放課後子ども教室」とは、放課後において小学校の校庭・体育館・余給教室等を利用し、1~6年生までの児童に安全・安心な居場所を提供する事業です。

この事業は、学校や保護者、地域の方の協力を得て校内で子ども達が安全に過ごせるよう「見守り」をするもので、児童クラブのように「保育」をする事業ではありません。

「放課後子ども教室」は市内全小学校で実施しています。*児童との併用登録もできます。

■開設日・時間
通常、給食がある日の放課後、学校の授業や行事に差し支えない日に開設します(三期休業期間中は開設していません) 開設日は学校により異なります。

開設時間は、4月~9月は放課後から午後5時まで、10月~3月は放課後から午後4時までとなります。

■申込み
登録票と保険料等負担金500円(保険料、運営諸費用)を添えて各校の放課後子ども教室開設時間内に放課後子ども教室のスタッフまで

市役所2階北側4~L窓口(子ども育成課)平日の午前8時30分から午後5時まで(通年)

※新一年生の申込みは4月からです。

※詳しくは子ども育成課青少年係へ

昭島市ホームページからもご覧いただけます。



昭島市 青少年補導連絡会講演会 開催しました



2月20日昭島市役所市民ホールにて、講師に薬剤師の嶋島悦子氏をお招きして、「青少年を薬物から守る」と題し、昭島市青少年補導連絡会主催の講演会が開催されました。

「青少年の薬物乱用のきっかけは好奇心です。気分を変えたい気持ちと、仲間からのプレッシャーでたった一度だけ!それが薬物の怖さです。やめたくてもやめられない依存症の理解と青少年の心の変化、そして家族や地域で出来ることを考えてみませんか?」という内容で、身近に起こり得る薬物乱用についてのお話がありました。

会場には59名の参加者が集まり、「参考になった」「子ども達にも聞かせたい」等のご意見がありました。